

2013年5月22日（水）

Important disclosures and disclaimers appear at the back of this document.

企業調査レポート  
株式会社フィスコ

## ■ 連結会計ソフトで高シェア、2年後利益は倍増

連結会計・グループ経営パッケージソフトの実績としては国内随一。上場企業における時価総額上位200社の導入シェアは43%と推定される。サービスの継続率は高く、安定的に利益を獲得できるマーケットを抑えながら、制度会計から管理会計（CPM：Corporate Performance Management）への事業領域拡大を志向。管理会計は経営者の意思決定に関わるだけに、制度会計分野よりもはるかにマーケットが大きい。2012年10月に子会社化したジールはBI（Business Intelligence）やビックデータ処理に長けており、同領域の攻略をともに担うことになる。

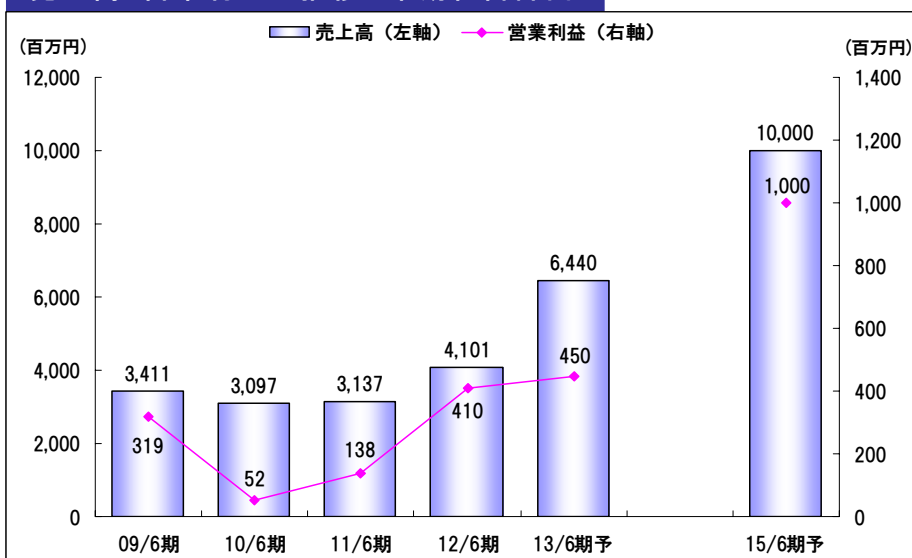
5月7日に発表された2013年6月期の第3四半期累計（2012年7月-2013年3月期）決算は、売上高が前年同期比64.2%増の4,832百万円、営業利益が同18.5%増の382百万円となった。ジールの子会社化による増収効果もあるが、それを除いても好調な推移が確認されている。2013年6月通期の営業利益予想は450百万円と期初予想の420百万円から既に上方修正されているものの、進捗率を考えるとやや保守的なイメージもある。

2015年6月期を最終年度とした中期計画は、グループ売上高10,000百万円以上、同営業利益率10%以上が掲げられている。ジールの子会社化による2014年6月期の地固めを経て、2015年6月期に成長スピードが大きく加速するイメージとなる。グループシナジーによるCPMマーケットの取り込みに加え、管理業務の効率化も進むことが予想される。なお、今期の1株あたり配当については前期比1.00円増の9.00円が予想されているが、業績の拡大に応じて更に増加する可能性もある。

## ■ Check Point

- ・ 上場企業における時価総額上位200社の導入シェアは43%
- ・ 制度会計から管理会計（CPM）への事業領域拡大を志向
- ・ 2013年6月通期の予想は保守的なイメージも
- ・ 中期経営計画は売上高で10,000百万円、営業利益率で10%以上

### 売上高・営業利益の推移と中期経営計画



※10/6期より連結決算

#### ディスクレマー（免責条項）

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪証券取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社大阪証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性や、本レポートに記載された企業の発行する有価証券の価値を保証または承認するものではありません。本レポートは目的のいかんを問わず、投資者の判断と責任において使用されるようお願い致します。本レポートを使用した結果について、フィスコはいかなる責任を負うものではありません。また、本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業との電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ